

平成30年度 第5回気高地域振興会視察研修概要

日 時 平成30年10月23日(火)午前9時15分から午後3時50分

場 所 西伯郡大山町周辺

〔出席委員〕

河根裕二委員、横田昭男委員、田中敦志委員、荒尾 極委員、松本弥生委員
水津文恵委員、三澤秀正委員、米田克彦委員

〔欠席委員〕

池長綾子委員、池原隆秋委員、西尾雅彦委員、田中洋二委員

〔事務局〕

武田敏男支所長、岡本幸子副支所長、木下敬一産業建設課長、大角正道市民福祉課長
石井盛光地域振興課課長補佐、小野主事(本課:地域振興課)

視察研修概要

大山町で芸術活動やリノベーションの中心的役割をしている大下志穂さんの活動している施設など視察研修をおこなった。

1. 大下志穂さん(こっちの大山研究所所長、アーティスト、築き会メンバー)

○2013年大山アニメーションプロジェクトからはじまった「地域」と「アート」の取り組みも、6年目を迎えた。

○今年は、イトナミダイセン芸術祭の開催を計画。

大下さんが在住している長田集落を舞台にする。これまで活動してきて、やっと大きなイベントが出来る雰囲気になってきた。鳥取県は、週末イベントが多いので平日にも来て頂けるよう9日間のイベント計画をした。

○観光とは違った分野で活動している。今の時代、観光客を呼ぶというよりは、地元の人が楽しく暮らしていけることの方が逆に外から来てくれるのではないか。

まずは、地域の方が楽しくというスタイルで活動している。

2. まぶや

案内：中村隆行さん(2001年移住、漁師、築き会メンバー、とっとり暮らしアドバイザー)

○築100年近い古民家を宮大工の北村さん(築き会代表)を中心に改装。平成25年10月に地域のまちづくり、交流、移住定住、アート事業などの活動拠点として生まれかわった地域のコミュニティ・スペース。

○運営は、大山町を主に活動拠点とする若手企業家やUIターン者などによる任意団体「築き会」が中心となって立ち上げた「まぶや」であったが、平成26年4月より、「まぶや」のある大山町逢坂地区のまちづくり団体「やらいや逢坂」の活動拠点ともなり、「築き会」と協力しながら「やらいや逢坂」が運営している。

○まぶや内で、移住交流サテライトセンターを大山町より委託を受けて運営。大山町に移住を希望される方のために週末に相談・サポート窓口を設けている。

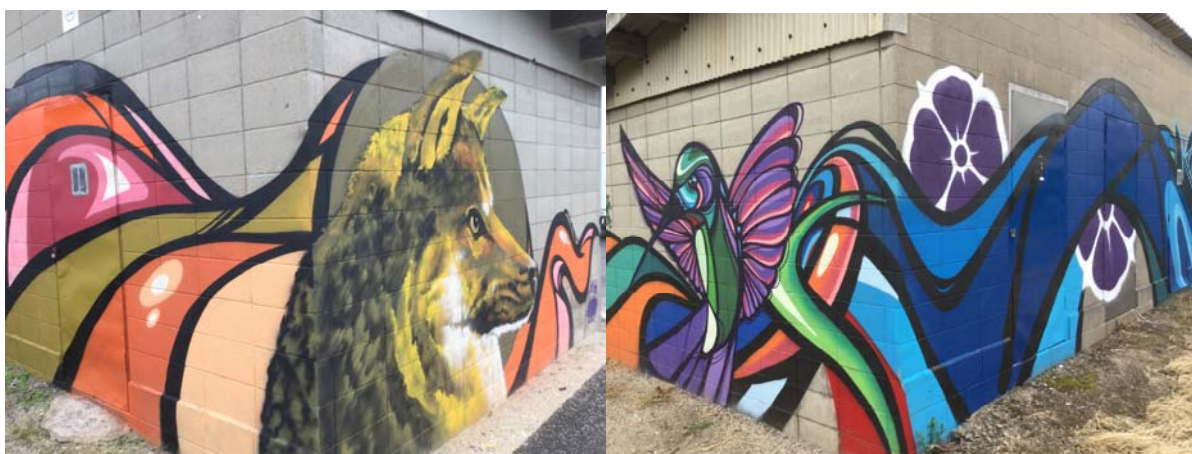


3. 御来屋漁港壁画アート

○大山町の海と、ハワイでも海を意味する「カイ」を掛け合わせた、カイプロジェクトで国内外のアーティストが10日間滞在して、壁画作品を制作した。

○町外から観光に来て頂きたいため、目立つ様に大きな壁画にした。

○壁にアート制作をするにあたり、漁協組合などに協力を得た。



4. のまど間(シェアハウス)

案内: 藪田佳奈さん(のまど間管理人、元地域おこし協力隊)

○空き家に興味があり、大山町にシェアハウスをつくらうと、地域おこし協力隊1年目に「のまど間」のリノベーションから携わって現在は管理人をしている。

○はじめは、誰が住むの?という感じで、少なかった時もあった。今は5人が住んでいる。

○のまど間のロゴマーク(写真:車庫シャッター)は、屋根と人を表しており、家は人が住まないと朽ちてしまい、人も家がないと雨風が凌げない。3つの●は、地域の人・のまど間に住む人・訪れた人を意味する。みんなが屋根の下で出会いを交流することがコンセプトである。

○大山町はアパートなども少なく、すぐに住める場所がない。短期の仕事で、利用される方もいる。



5. 大山ガガガ学校(旧高麗尋常小学校長田分校)

○長田集落にある旧長田分校をつかって、大下さん、藪田さんを中心にいろいろなイベントを実施している。



6. ふれあいの郷かあら山

○大山町立旧高麗保育所を利用して「まちづくり高麗地区会議」が中心となり平成24年から運営。

○「交流サロン」 喫茶などがあり地元交流の場となっている。

○「健康づくり」 定期的に健康教室などを開催。

○「こーれいキッズ」 子どもたちの勉強や遊びの場を提供。

○「お宝探し」 地区の歴史、文化、伝承などの収集、地域の方の作品展示をしている。



7. 妻木ハウス

○大下さんが空き家をリノベーションし、2016年にオープンしたアートスペース兼レジデンス施設。



委員感想

○活動者も地域も行政も、いかに継続していけるか仕組みが必要。

○人と地域と行政が柔軟に繋がりを持つことが重要である。

- 古民家が見事に再生されて、地域の拠点となり、地域の活性化と繋がっている。
- 古民家の再生・活用が移住、定住へとつながっている。
- 芸術活動が地域や集落の中で取り組まれ活性化につながっている。
- 大下さんをはじめ、人を大事にして、人とのつながりを大切にしていることが成功のカギとなっている。
- 地域活動と行政が適度な距離感を持っている。民間の覚悟が必要だが、行政の適確な支援も必要。
- 自分の好きな活動を自分の気に入った地域で楽しみながら活動していた。地域の魅力アップ、変化につながっている。